※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽理論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽典、楽曲の構成や和声法、対位法など年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや授業内の筆記テストで評価します。
・音楽理論の学習で、音楽の構造や仕組みを理解することで演奏する技能や鑑賞する能力を高めることができ、より一層音楽を楽しむことができます。
・音楽が、生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽理論の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
１．音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付ける。
２．音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力・判断力・表現力等を身に付ける。
３．音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】 音楽に関する基礎的な理論について理解している。 【技能】 理解したことを楽譜によって表すことができている。	・音楽理論を活用し音楽表現との関わりを考え、音楽表現を高めている。 ・音楽作品に対する解釈や価値判断などを深めている。	音楽理論を表現や鑑賞に生かそうと、主体的・協働的に表現活動および学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	音楽理論を学ぼう！	・音の長さ ・音の高さ ・記号 ・音程 ・アナリーゼ 「マリーゴールド」(女声三部合唱)	a:【知識】音楽に関する基礎的な知識及び法則について理解している。 【技能】理解したことを楽譜に書き表すことができている。 b.音楽理論を高め、音楽表現との関わりについて考えている。 c:音楽理論に関心を持ち、主体的・協働的に表現活動および学習に取り組もうとしている。	・テスト	・ワークシート	・観察
	理論を生かして合唱してみよう！	・「マリーゴールド」(女声三部合唱)	a:【知識】音楽に関する基礎的な知識及び法則について理解している。 b:正しく楽譜を読み解き、音楽理論を活用して表現との関わりについて考えながら、歌唱表現ができている。 c:音楽理論と歌唱表現との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・ワークシート ・観察	・観察
2	音楽理論を学ぼう！	・音階 ・和音 ・コードネームをコード進行	a:【知識】音楽に関する基礎的な知識及び法則について理解している。 【技能】理解してことを楽譜に書き表すことができている。 b:音楽理論を高め、音楽表現との関わりについて考えている。 c:音楽理論に関心を持ち、主体的・協働的に表現活動および学習に取り組もうとしている。	・テスト	・ワークシート	・観察

※令和４年度以降入学生用

	コードで弾き語りに挑戦しよう！	・弾き語り(ピアノ) ※各自で好きな楽曲を選択	a:【知識】音楽に関する基礎的な知識及び法則について理解している。 b:コード進行の法則と表現との関わりについて考えながら、音楽表現できている。 c:コード進行の法則と表現との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・演奏の聴取	・観察
3	作曲に挑戦しよう！	・作曲(各自1曲を制作)	a:【知識】音楽に関する基礎的な知識及び法則について理解している。 【技能】理解したことを楽譜に書き表すことができている。 b:音楽理論を用いて、自らが表現したい内容と理論との関わりについて判断しながら表現できている。 c:作曲について関心を持ち、主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度